

原町高等学校 創立八十周年式典



昨年十月十二日に開催が予定されていた創立八十周年記念式典および祝賀会は、東日本に記録的な被害をもたらした台風十九号の影響で中止を余儀なくされました。その後の実行委員会にて規模を縮小した形で式典のみ開催が決定され、二カ月後の十二月十九日、本校第一体育館において杉昭重実行委員長と赤石澤啓雅・木元正幸両副委員長の同席のもと挙行されました。

式典では、学校長式辞、実行委員長あいさつ、さらに生徒会長館野湧太さん(二年四組)による生徒代表あいさつに続き、白瀬歩さん(三年四組)による誓いの言葉が各クラス代表生徒によって披露されました。昭和平成そして東日本大震災を乗り越えて令和の時代を迎えた今を原高生としていかに生きるかを伝え、さらに次世代への力強い決意を込めた「誓いの言葉」のあと、全員で校歌を斉唱し、来るべき九十周年への誓いを新たに、閉式となりました。

誓いの言葉

積み重ねられた卒業アルバムその高さが本校の歴史、原高生の生きた証表紙を開けば、今、よみがえる。あの時代の、あの日。昭和十四年、小川町校舎で開校式、第二回入学式挙行。昭和五十年、全学年普通科十クラス、現校舎へ移転完了。平成二十三年三月十一日、天は、非日常を日常に変えた驚き、叫び、そして、深い折り。学び舎を後にする原高生。その寂しき、不安でも、挫けない、明日を見つめる瞳。私たちに続く道を、切り拓いた先輩。

本日、福島県立原町高等学校、創立八十周年。令和は、人間の本质が問われる時代。私たちがはつなげる。私たちが夢見る。私たちの可能性は無限大。解のない、問いへ挑む方法を本質を見極める術を。そして、私たちは、この時代を生き抜く。積み重ねよう、卒業アルバム。次の年も、また次の年も。百周年に向かって、未来に向かって。



一言ずつ誓いの言葉を述べる代表生徒たち

「学業面で努力したことは、特に、二年では好きな教科を突き詰めた。時間の八割は数学に費やした。解きながら出題者と対話するような過程が楽しかった。放課後合唱練習で指揮をふった後、部活の通い合宿、帰宅してテスト勉強とハードな時もありましたがペースを崩さずにやれました。」

「今後どんな方面で活躍していきたいですか。自分が育った福島に何かを還元したいのと、世界を舞台に国際協力の仕事に関わりたいという2つの思いがあります。どちらにしてもまだ知らないことばかり。大学では視野を広げるために教養を身につけたいです。」

原高での学びや人とのつながりを糧に今後一層の活躍を期待したい。なお、二月二十八日の表彰式では、記念品として万年筆も授与されました。



館野 湧太生徒会長

創立八十周年を記念して今年から創設された「柏曜賞」。成績優秀かつ部活動や学校行事等においても他の模範となる生徒が卒業学年より一名選出される。第一回受賞者となった三年四組荒金志紀さんに話を聞きました。

「受賞の感想を聞かせて下さい。とても光栄ですが驚いていません。周りには頑張っている人がたくさんいるので自分でも良いのかと。」

原高での三年間の印象は、「とにかく楽しかったです。野球部の練習はきつかったです。が、仲間と過ごした時間は特にかげがえのないものです。原高は学校行事が多く、クラス全員で一つ一つ作り上げていく過程は充実していました。原高を選んで本当に良かったです。」

「学業面で努力したことは、特に、二年では好きな教科を突き詰めた。時間の八割は数学に費やした。解きながら出題者と対話するような過程が楽しかった。放課後合唱練習で指揮をふった後、部活の通い合宿、帰宅してテスト勉強とハードな時もありましたがペースを崩さずにやれました。」



荒金さん(3-4)

第二回柏曜賞受賞者の横顔

創立八十周年 未来に向かって

東京支部だより

令和元年十月十四日に原高同窓会東京支部総会・懇親会が上野精養軒で開催され、多数(百十名)の方々の出席をいただきました。

第一部の総会は大沢 勇副支部長(二十回卒)の司会で始まり、最初にこの一年に亡くなられた方々への冥福を祈る黙祷を上野寛永寺の「時の鐘」の音に合わせて行いました。

次に来賓紹介、川鍋裕夫支部長(十七回卒)の挨拶、そして議事に入りました。

先ず役員体制が承認され、次に久米文二事務局十九回卒)からの活動報告、遠藤吉樹会計(二十四回卒)から会計報告、大井善光会計監事(二十四回卒)から監査報告がありました。

その後、来賓の方々の挨拶をいただきました。最初に山崎雅弘校長、次に杉昭重同窓会会長、そして高野庄一同窓会本部長、事務局からは生徒たちの進路や部活動について報告がありました。

その後、原高八十周年を記念したDVDが放映され、第一部が終了しました。第二部の懇

●29回卒同窓生による柏の木記念植樹が5月25日に行われました。あわせて現役生徒の活動基金として寄付金をいただきました。

●丹野 敏野幸雄さん(原高2回卒)より野球部へ硬式ボールの寄贈がありました。



代表の大沼博文さん(左)



幹事の高野建夫さん(左)

●同窓会総会

令和元年八月三日(土)、原町区のホテルラファイヌにおいて同窓会総会が開催されました。三十名ほどの参加があり、事業報告、決算報告、事業計画、予算案等の議案が審議され、すべての承認が得られました。また、事務局より創立八十周年記念事業の一環として「柏曜賞(同窓会長賞)」の創設について提案がなされ、あわせて承認されました。総会後には恒例の懇親会も催され、世代を超えた交流が深められました。

●活動協力金の現状報告

昨年三月から役員および世話人の方々の協力のもと、平成三十一年令和元年度活動協力金の募金活動を行ってまいりました。開催の詳細は七月中旬に原町高校ホームページに掲載する予定です。同窓生であればどなたでも参加できますので、どうぞお気軽にご出席ください。

●令和元年度同窓会役員紹介

令和元年度役員は昨年度に引き続き以下の通りです。

●丹野 敏野幸雄さん(原高2回卒)より野球部へ硬式ボールの寄贈がありました。

●八十周年を期に、南相馬市職員同窓生有志の皆さまからご寄付をいただきました。

●令和元年度同窓会役員紹介

令和元年度役員は昨年度に引き続き以下の通りです。



丹野さん(中央右)

前同窓会長渡辺二成氏の訃報に接し

平成三十一年四月十日に第八代同窓会長として十五年間にわたり活動されてきた渡辺二成さんの突然の訃報が舞い込んできました。思いがけない事故で亡くなったことは本当に残念なことです。

渡辺二成さんには、東日本大震災の直後に、原高が相馬高と福島西高にサテライト校として避難した状況で授業を行い、その後、原高の本校舎に戻って授業を再開する過程の中で、学校行事の節々に同窓会

長として力強く生徒たちを励ましていただいたことが強く印象に残っています。

また私たちPTAの活動もこれまで経験したことのないような環境に置かれて困惑していた時期にあつて、具体的な活動の復活に向けて様々な相談をさせていただいた恩人でもありました。

私たちは、前同窓会会長の原高を愛するというご遺志をしっかりと受け継ぐ覚悟をしております。渡辺二成さん本当にありがとうございました。ご冥福を心からお祈り申し上げます。

元PTA会長 木村 浩之 (二十九回卒)

令和元年度同窓会役員紹介

令和元年度役員は昨年度に引き続き以下の通りです。

●令和元年度同窓会役員紹介

令和元年度役員は昨年度に引き続き以下の通りです。

令和元年度同窓会役員紹介

令和元年度役員は昨年度に引き続き以下の通りです。

事務局より

- 会長 昭重(二十一回卒)
- 副会長 杉
- 川鍋 忠敬(十三回卒)
- 赤石澤啓雅(十七回卒)
- 鈴木 清延(十八回卒)
- 箱崎 俊一(二十五回卒)
- 遠藤 雄幸(二十五回卒)
- 幹事 志賀 吉延(十九回卒)
- 愛原 利昌(二十一回卒)